

令和元年度 第3回岩美町社会教育委員会及び公民館運営審議会 議事概要

1. 日 時 令和2年2月20日（木）午前10時00分～午後0時10分
2. 場 所 中央公民館 2階 第2研修室
3. 出席者 （委員）日下部 武志委員、谷口 謙委員、岸本 彰委員、山本 達雄委員
永美 春美委員、門脇 勝恵委員、稲田 均委員、城戸 宏子委員

（事務局）教育長 寺西健一、次長 飯野 学、中央公民館長 山口 浩司
社会教育係長 中島 公成、主事 濱納 進悟

4. 概 要

<議 題>

（1）令和元年度社会教育・公民館事業の実施状況について

（事務局） 資料により説明

（委員）成人式について、職業実習生等の外国人も対象者か？参加はあったか？

（事務局）対象者であり、案内送付している。本年度について参加はなかった。
手元に資料が無いので正確ではないが、過去にも参加は無いと認識している。

（委員）漁業実習生については、乗船している時期であり時間的に参加できないと思う。

（委員）文化財の整備・活用について、現状の維持管理はどのように行われているのか？

（事務局）各指定文化財の所有者又は管理者において行われている。全ての物件を町が維持管理しているものではない。物件によっては所有者や管理者が高齢化し維持管理が困難となりつつある。その都度、協議を行い対応策の検討を行っている。また、所有者において修繕等を行う場合には所要額の一部を補助する制度も設けて維持管理をお願いしている。

（委員）昨年4月号広報から文化財を紹介するコーナーが設けられていて啓発の取り組みとして良いと思う。出典は町政60周年記念で作成した冊子「岩美町の文化財」だと思われるので、出典を記載してPRしてはどうか。

（事務局）直近はR2.4号となるが記載しPRする。

（委員）文化財の活用について、岩美北小では地域文化に親しむ取り組みとして、「宇治の傘踊り」「陸上の麒麟獅子舞」「田後の盆踊り」などを児童に紹

介している。その中で、田後に住んでいない児童が「田後の盆踊り」を知っていた。こういった取り組みが増えてくれば、地域文化の伝承という面でも役立つと感じた。

(委員) 唐川のカキツバタ観察会について、主催は小田地区公民館？事務局の関わりは？

(事務局) 共催としている。事務局は、小田地区以外から参加される方の移動手段の確保として役場からカキツバタまで公用車により送迎を行う。参加申込受付は両方で行っている。

(委員) 不慣れな方には運転が不安になる場所なので送迎は継続して頂きたい。観察会の日だけでなく、町外からも多くの方が訪れているとの話を聞く。

(委員) スポーツ大会派遣補助について、補助の基準は？

(事務局) 鳥取県体育協会に加盟する競技団体が主催する県大会において、3位以上の成績により、中国大会以上の上位大会へ出場する者について交通費・宿泊費・大会参加費を全額補助している。

(委員) 岩美町ほど手厚く補助をしている自治体は無いのでは。対象経費の全額を補助している。他の自治体は上限 10,000 円/人だと聞いている。体育会の中では本制度が紹介されるが、各競技団体へも PR し更なる有効活用が図られると良い。

(委員) 図書館の事業について、「ブックスタート」「セカンド」「サード」の取り組みをもう少し詳しく説明願いたい。

(事務局) 幼少期から本に親しんでもらうために、6,7 か月・1 歳 6 か月・5 歳の各健診時に絵本をプレゼントしている。6,7 か月の時は 2 冊と袋、1 歳 6 か月・5 歳の時は各 1 冊。図書館は選書を行っている。

(委員) 良い取り組みだと思うので継続して欲しい。

(委員) 公民館・図書館の各事業の PR はどのように行われているか。また、参加状況は想定どおりか？

(事務局) 防災行政無線、HP 及びチラシ等で周知を行っている。特に、保育所から中学校までの年齢層を対象とするものは全員にチラシを配布し周知を行っている。参加状況については、事業によって大きく違う。残念ながら参加申し込みが無く中止とした事業もある。基本的にはニーズを捉えながら事業を計画するが、「英語で岩美を伝えよう」など、町として皆さんに参加頂きたいと考えて実施する事業は申込が少ない傾向にある。参加して頂ける事業としていきたい。

(2) 令和 2 年度社会教育・公民館事業の事業計画（案）について

(事務局) 資料により説明

(委員) 人権の花運動事業について、花を育てることによって生命の大切する心や、友達に対する思いやりの心を育てるものだと思うが、従来のやり方

は苗から育てて、枯れたら終わりだったと思う。可能であれば、育てたものから種を取り、次へ繋ぐような取り組みまで出来ればより良いと思う。

(委員) ガイナーレ鳥取ホームタウンデイについて、教育委員会事務局として関わっている主旨としては、本物を生で見ることによる効果を期待していることだと思うが、現実には送迎バスの利用も無い状況だと思う。併せて行う町の PR については必要だと思うが、本物に触れる機会を提供する主旨であれば、岩美町に選手に来てもらい指導してもらうなどの方が効果的では。本事業は観光 PR 事業としても良いのでは。

(委員) 地区公民館事業について、中央公民館と地区公民館が行う事業が内容や日程が重複しているように思うがどうか？例えばクッキングなど。

(事務局) 内容について、各事業はそれぞれ目的をもって実施しているが、目的達成のための手段が重複することはある。中央公民館は広く全町民を対象として事業を計画し実施するが、地区公民館は地区民を対象として各地区に特化した事業を行うようにしている。日程については、重複しないように考慮する。

(委員) 文化財の管理でも話があったが、管理を行う地元の老人クラブなどの社会教育関係団体は新規加入者が少ない。各団体とも高齢化が進んでいると思う。個人の趣味が優先され、ボランティアへの参加意識の希薄化が進んでいるように感じているところ。社会教育関係団体の取り組みに地区公民館がタイアップして両者が得るものが大きくなるような取り組みを考えてみてはどうか。

(委員) 図書館事業について、協議会の委員は何人か？ボランティアか？活動内容は？

(事務局) 10 人に委員をお願いしている。年 2 回、委員会を開催しご意見等を頂いている。報酬は無くボランティアでお願いしている。

(委員) 一定程度の時間拘束が発生し、委員会のための準備等にも時間を使うと思うので、報酬を検討しても良いと思う。

(委員) 図書カードは県立図書館等と共有できないか？

(事務局) 現状はできない。但し、相互連携を行っている県東部及び新温泉町の各図書館では住所を有しなくても図書カードを作ることが出来るようになっている。また、岩美町立図書館を窓口として、県内の図書館から本を取り寄せて借りることは可能。県外からでも有料となるが取り寄せて借りることは可能である。

(委員) 利用者登録数が少ないという話があったが具体的には？

(事務局) H30 末で県内平均約 51% に対して、岩美町は約 35% 程度。

(委員) 10 月を利用者登録促進月間としているが、具体的な取り組みは何か？

(事務局) 現在、検討中

(委員) 利用者登録数の目標数値を掲げて、各促進策に取り組んで欲しい。

(3) その他

○成人式に関するアンケート集計結果について

(事務局) 資料により説明

(委員) アンケート調査の回収はどのように行ったのか？

(事務局) 中学校に協力をお願いし、配布及び回収をしていただいた。

(委員) 自分の周りの話だが、18・19・20 歳を同一年度に成人式の対象者とするのはどうかということだった。子ども達は 20 歳での成人式を希望していた。

(委員) 実際の当事者となる中学校 3 年生及び保護者を対象としたアンケート結果は非常に重く受け止めるべきものだと思う。アンケート結果を尊重すべき。

(委員) 他の調査結果や全国的な動きをみても、多くは 20 歳を対象として成人式を開催する方向のようである。「成人式」という名称ではなく「二十歳の集い」等名称を変更するなどしている。本町においても実施内容などは別として、20 歳を対象として行うことで良いのでは。

(委員) 成人式の内容として、もう少しインパクトがあり記憶に残る事ができれば良いと思う。例えば、町民歌の生演奏など。

(委員) 記念行事の実行委員を自らやりたいと回答した生徒が 10% もいる。こういった事に自主的に参画する機運が定着していること。今のやり方が受け入れられている結果だと思う。

(事務局) 本日頂いたご意見やアンケート調査の結果等を踏まえ、町としての方針案を決定し、委員の皆さん・町議会議員の皆さんなどとも相談させていただき、出来るだけ早期に方針決定を行いたい。